

やりがいを見つけ

楽しむのがプロ

「働く」ということは、「プロになること」だと僕は思う。

プロは言い訳をしてはいけない。きちんできて当たり前なのだ。また、プロとして働くことは、人並み以上に悩みや苦しみを味わうということだ。人知れず苦悩し、挫折や失敗を味わうこともある。でも、プロはそれらをすべて自分の財産にできる。

さらに、プロの仕事は一人ではできない。人とのつながりがあった才能だ。周りの人、生き

ていることに感謝すること。

最後に「楽しむ」のがプロだ。

プロの仕事なんて、どれも本来は楽しいわけがない。楽しかったらプロに頼む必要はないのだ。どうやったら楽しめるか。それはやりがいを見つけることだ。

僕はこの秋で弁護士10年目だ。毎晩の夢にまで仕事が出てきてうなされることもある。もしかしたら自分には向いていないんじゃないかなとか、いつも思う。でも、依頼者が喜ぶ姿を想像すると、そんなことは吹き飛んでしまう。「働く」のは、思ったより楽しい。

長野市 板谷健太郎

(弁護士・39)